

令和3年産 紀南のすもも産地情報

2021/08/04

「生育概況」

1. 本年のすももの開花は、主力の大石早生の満開が3月22日と平年より4日程度早くなった。ソルダムの満開は3月11日となり、大石早生との満開期に11日の差があった。また、大石早生の開花期間は11日間と平年より3日短くなった。

大石早生の出荷は5月28日から始まり、6月17日で販売を終了し、販売開始時期は前年より6日早くなったが、販売期間は前年並みとなった。昨年と比べると着果は良好で、5月は平年を上回る降雨があったため、肥大が促進され出荷量は前年より多くなった。

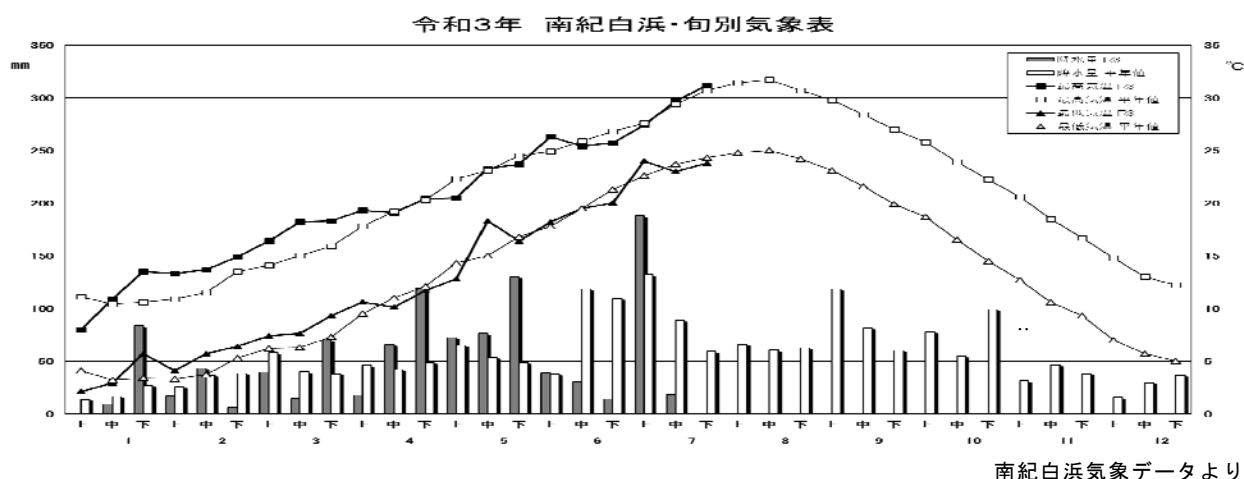
ソルダムの出荷は6月14日から始まり、7月9日で販売を終了し、出荷量は大石早生同様前年より多くなった。

2. 生産見込み量は、大石早生は前年より多く、平年より少なくなった。サンタローザは前年・平年より少なくなった。ソルダムは前年より多く、平年並みとなった。

8/4日時点（生産見込量：t）

| 品 種 | 3年産 | 2年産 | 平 年 | 前年比 | 平年比 |
|--------|-------|-------|-------|------|-----|
| 大石早生 | 152.0 | 117.1 | 193.2 | 130% | 79% |
| サンタローザ | 14.1 | 16.8 | 19.4 | 84% | 73% |
| ソルダム | 77.5 | 51.9 | 80.6 | 149% | 96% |

3. 果実生育期の気温は、5月上旬の最高気温が平年より低くなり、中旬の最低気温が平年より高くなったものの、それ以降はほぼ平年並みとなった。また降水量は4月中旬から5月下旬までは平年を上回ったが、6月は降水量が少なくなった。



「産地の課題と方向」

主力である大石早生の生産量 200 t を確保するため、引き続き老木樹の改植、他品目からの転換と、授粉対策の徹底により安定生産に努めることが重要である。